

工務店事例

地域に住む顧客に最適な家を提供

突き詰めた先のパッシブハウス認定

設計
性能

快建築舎 [福岡県飯塚市]

三兄弟で役割を分担しながら経営していた快建築舎だが、2020年に経営方針の違いから、次男の石橋慶一さんが同社を引き継ぎ、新たに社長に就任した(タブロイド判2017年3月10日号に関連記事)。新しい経営方針の下、自社の家づくりを洗練させていくために、パッシブハウスジャパンにも加盟。地域に住む顧客に最適な家を提供するために、自社のベストを尽くして進み続ける。

【編集部 佐野元基】

同社は1973年設立。2019年までは、石橋さんは兄、弟と役割を分担しながら経営していた。しかし、石橋さんには「元々は設計事務所だったので、私は家づくりにもっとこだわっていききたい気持ちがあった」。さらに「世の中全体の、性能をもっと見直していこうという流れの中で、家づくりに対する思いがすれ違った」ため、お互い納得したうえで違う道を歩むことにした。

当時、事務所は福岡県田川市にあったが、再出発に向けて飯塚市に拠点を移した。社長になった石橋さんは「まずはパッシブハウスにチャレンジ」することを目標に。独パッシブハウス研究所のエネルギー収支計算ツール・PHPPでの計算方法はもちろん、他工務店の物件を見

快建築舎

設立：1973年 社員数：6人
所在地：福岡県飯塚市弁分137-9
新築年間棟数：7～8棟
新築平均単価：4000万円～

学しながら、施工方法も習得していくことにした。

標準はあくまで“標準” 条件に応じてカスタマイズを

石橋さんは、2年前にパッシブハウスジャパン(PHJ)に参加。PHJの工務店仲間から積極的に知識・技術を学んだ。特にPASSIVE STYLE(鹿児島県鹿児島市)が定期的に催している勉強会(通称・馬場塾)には「過去3回は参加している」ほど、熱意をもって通った。

今年中にはパッシブハウス認定を目指した物件を4棟着工する予定で、無事認定を取得できれば、福岡県筑豊地区では初めての認定物件となる。来年度もすでに2棟分の認定予定物件が決まっているという。荒削りな状態から洗練させていった結果、今ではPHJ九州支部のサブリーダーを務め、視察会を催すレベルまで到達した。とはいえ、短い期間でのサブリーダー抜てきは、プレッシャーを抱えたこともあったそうだ。「他にいい



筑豊地区では初(福岡県では2例目)のスマートウィン佐藤の窓を採用した住宅。外壁には珪肥スギ無塗装やStoを採用して、自社のベストを目指した物件だ



事務所にストックを用意して、説明の際に必ず渡している『最近、地球が暑くてクマってます。』

人もいるだろう」と思いつつも、「支部のリーダーには実際に自社で施工した物件を見ていただき、細かいところまで突き詰めてチャレンジしている姿勢を評価していただけてうれしかった」と話す。

同社の標準仕様は、長期優良住宅認定、耐震等級3(許容応力度計算)、全棟気密測定を行い、HEAT20・G3を超える断熱性能を備える。またPHPPで地域に最適な設計・性能を取り入れた住宅を提供する。

しかし、標準は“あくまでも標準”。地形や風土などの条件が変われば、変化することが求められる。石橋さんは「地域の条件に応じて最適な家を目指すのが当たり前。性能が過剰でもよくないし、満たしていないことも問題だろう」と指摘する。例えば、同社が立地する筑豊地区は山に囲まれた地形で、盆地の気象条件に当てはまる地域が多いが、標高の高低差によって温度は変わるため、一概にひとつの“地域”としてはくれない。だからこそ「標準仕様は定めているけれど、型として当てはめたら注文住宅の良さはなくなってしまう。施主の希望する条件と、土地に合わせたカスタマイズが重要」と考えて設計している。

環境の観点から魅力を訴求 地方向上は応援あってこそ

石橋さんは、初回接客に5～8時間をかけているという。施主に対して、高断熱・高気密住宅に住む意味やメリット、費用感、生活スタイルのどこに比重を置

いて金額をかけていくかなど、「家づくりで最低限必要な知識は、圧縮しても伝えるのにこれだけ時間がかかる」。また、自社のスタンスである“環境負荷に最大限配慮すること”を伝えて、一つひとつ理解してもらおうが「興味がある人は聞く姿勢が違うから、この段階で受注につながるかどうかはわかる。手間も時間もかかるが、この段階である程度選別できている」そうだ。

また、環境問題を説明するときには、必ず『最近、地球が暑くてクマってます。シロクマが教えてくれた温暖化時代を幸せに生き抜く方法』(文響社)を渡して「まずは子どもでもわかるレベルから」育客している。

自社のスタンスに共感する顧客は信頼度も高い。パッシブハウス認定取得予定の物件は、全ての窓をスマートウィン「佐藤の窓」に統一。値段が上がる仕様変更も、費用対効果を説明した上で、納得してもらえる関係性を育むことができてきている。「そのときのベストを尽くせるのは、施主に応援していただけているからこそ。日々成長しているので、建てたタイミングによって性能に差が生まれるかもしれないが、成長し続ける企業姿勢を応援していただけるよう、誠実に対応していきたい」と話す。



社長の石橋慶一さん



現在の社員数は6人。新しい体制を構築しながら採用も継続している

パートナー募集



家具付き規格住宅

trip

The journey of construction, the joy of design.

株式会社トランスデザイン
広島県広島市西区三篠町3-7-20

ZOOM説明会
随時開催中



インテリア
シミュレーション
お試しください



こんなお悩みありませんか？

- ① 打合せの時間を削減したい
- ② プラン作成に時間をかけたくない
- ③ こだわりの強いお客様が多い
- ④ 予算が合わないことが多い

tripならすべて解決！

- ✔ スマホで簡単仕様決め
- ✔ 600以上の豊富なプラン
- ✔ オリジナルのキッチンで差別化

※エリア制を設けておりますので
ご加盟いただけない場合がございます。